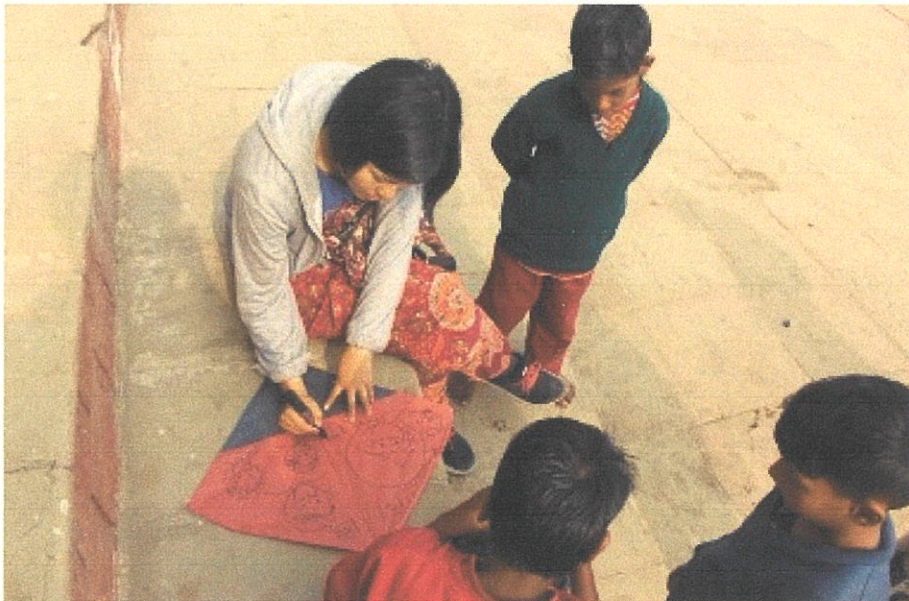


ひやくようばこ

夜のプレ・お話し会 “イチリナ ナイト”

～イチリナこと^{いちかわりな}市川莉奈 9ヶ月間・23カ国の旅で見た世界の教育について語る～



アメリカ
メキシコ
キューバ
カナダ
ペルー
ボリビア
チリ
フィンランド
ドイツ
オランダ
ベルギー
フランス
オーストリア
ハンガリー
トルコ
UAE
エチオピア
インド
タイ
カンボジア
マレーシア
インドネシア
ベトナム

2018年5月11日(金) 18:45～(開場 18:15) 豊田市 逢妻交流館多目的ホール

市川莉奈さん プロフィール

1994年5月生まれ 愛知県蒲郡市出身 愛知教育大学 教育学部 初等情報学科に所属(4年)。小学校6年生の時に

学校から海外派遣にてアメリカのサンフランシスコに住む人々の家庭を訪問してその暮らしぶりを見て、見た目、話す言語が違っても、私たちは同じ音楽やダンスで楽しむことができると知り、海外へ興味をもちはじめた。

大学1年の夏休みに台湾へ行った際、初めて海外に友達ができただけでカンボジア、ベトナム、ニュージーランドへの一人旅を決行。

その後、大学のプログラムでモンゴルやカンボジアを訪れ、国が違えば教育が違うということを感じ、もっと多くの国の教育を見て

みたいという気持ちから、大学を休学し2017年5月から9か月間かけて23カ国、20校の学校や施設を見学。2018年2月13日に帰国した。

大学1年の時に先輩から熱烈な勧誘を受け、アルプス子ども会のリーダーに応募。アルプス子ども会のめざすことや多様なリーダー集団、オリジナルソングに胸を打たれ、正式にリーダーとなることを決意。長期休みには欠かさず参加するようになった。

趣味は、消しゴムハンコ作りや将棋、書道、絵を描くことなど。

このお話し会は、6月17日(日)にMacro Villageで開催する『地球からのメッセージをあなたへ～心がゆれた9ヶ月・23カ国の旅で私が学んだこと～』の内容から特に世界の教育に関することに絞ってお話ししてもらおう企画です。

お話の他にフィンランドの教科書やドイツ国際平和村の資料など、市川莉奈さんが23カ国の旅にまつわる思い出の品を展示します。

さらにはキャンプリーダーでもある彼女が参加者みんなで遊べる楽しいゲームを教えてください。

【参加費】500円(高校生以下は無料) 【スケジュール】18:15 開場/受付開始 18:45 講演(ゲーム、シェアタイムあり)～21:00 閉場

*会場内でお弁当等の持ち込み、食事ができます。 *カフェコーナーを設置します。*内容は大人向けですが、お子さまと一緒に参加できます。 *小さなお子様向けに講演の合間に絵本のよみかせをします。【参加申し込み方法】下記Eメール宛にメッセージをください。

codomosentiments@gmail.com (担当 安藤) 主催:ひやくようばこ <http://hyakuyobako.booo-log.com/> 協力:おいでん・さんそんセンター / 森のようちえん てんとうむし / 野外保育 とよた森のたまご / 松平・森のお散歩会かのこ / 一般社団法人 Re Smile

What is a child rights-based approach?

〈ひやくようばこについて〉

ひやくようばこは、百の葉＝百の言の葉に
耳を澄まして子どもたちの人権を守る、
というビジョンを現す名前です。

「子どもたちのしあわせ」のために
「子どもたちの力」になりたい。

子どもたちの人権を守るアプローチを、みんなの日常に落とし込むのがひやくようばこの使命の一つです。
特に学びの場において子どもたちの人権が守られていないケースを危惧しており、権利に基づくアプローチ、権利基盤型
アプローチ、人権アプローチなどと訳される、ライツ・ベースド・アプローチ（RBA）という手法を知り、現在学んでい
ます。

NGOなどで用いられる手法で、文京学院大学の甲斐田万智子教授によれば『子どもをエンパワーするだけでなく、子ども
の権利を守る責任のある人の力を高め』、さらに『子ども自身が権利を持っていることを理解し、権利を侵害された場合
に主張できるように支援する』ものであるとのこと。

「子どもたちが安心して学びあう」ために。

まずは大人たちが、安心して和やかに学びあう時間を持つことが大切だと思います。

わたしたちひやくようばこは、大人を対象としたこどもの権利に関するお話会や読書会などを、堅苦しくないスタイルで
開催しています。

あなたもひやくようばこの催しに参加してみませんか。